

石油資源開発株式会社  
第 53 回定時株主総会 質疑応答要旨

日時：2023 年 6 月 27 日（火）10:00～

場所：ステーションコンファレンス東京「サピアホール」（サピアタワー 5 階）

当日出席者：53 名※議場での報告数

（以下、当日の質疑応答順に記載）

Q1：配当方針について（年 50 円/株に至る業績悪化事由とその可能性について）。

A1：

- ・業績悪化により年 50 円/株の配当となるような個別具体的なケースを想定しているわけではない。
- ・今期については、原油価格 75 ドルの想定のもと業績予想を公表しており、同予想に基づき連結配当性向 30%を適用した結果として、配当予想を 200 円としている。なお、現時点の当社の財務状況等に鑑みて、200 円の配当を行うことに支障はないと考えている。

Q2：メタンハイドレート研究開発の進捗状況と業績への影響について。

A2：

- ・メタンハイドレートは日本近海に存在が確認されている貴重な資源であると認識している。
- ・当社を含む民間 11 社で設立した日本メタンハイドレート調査株式会社が経済産業省から受託している研究開発業務に関して、当社は同社に技術者の派遣や技術支援を行っている。
- ・2017 年には、渥美半島沖で産出試験を行い一定程度の生産を行ったものの、安定的な生産が可能となったわけではなく研究段階にある。
- ・同社では現在、次の長期生産試験に向けた準備を行っている。
- ・メタンハイドレートの事業化については、同試験の結果を踏まえて、安定的かつ長期で生産可能な技術が確立された後に具体的な検討が始まるものと考えている。

Q3：従業員の持株数について。

A3：

- ・当社では、役員や従業員による持株取得について推奨を行っている。具体的には、役員の役位に応じた株数の取得を推奨するとともに、従業員持株会への加入にあたってのインセンティブの付与を行っている。  
（上記に加え、2023 年 3 月末時点での従業員持株会による保有状況も踏まえて、具体的な数値につき回答がなされた。）

Q4：ESG の観点での地域貢献（自治体への寄付・ネーミングライツ等）について。

A4：

- ・現在、ネーミングライツによる地域貢献は行っていないものの、地域振興行事における寄付は適宜行っている。
- ・当社は地方に事業所があり、立地自治体との友好関係を築くことは非常に重要と考えている。自治体等が主催する各種行事への参画、ボランティアへの参加といった形でも貢献している。

以上